

医療法人アスムス

Activities Supporting Medicine Systematic Services
〒323-0014
小山市書沢1475-328 TEL0285(24)6565 FAX0285(25)0941
Mail:kiboukai@post.sannet.ne.jp

おやま城北クリニック

〒323-0014 小山市書沢1475-328
☎0285(24)6565 / ☎0285(25)0941

わくわく訪問看護ステーションおやま

〒323-0022 小山市駅東通り3-9-8
☎0285(24)6575 / ☎0285(20)0255

居宅介護支援事業所わくわくおやま

〒323-0022 小山市駅東通り3-9-8
☎0285(24)6575 / ☎0285(20)0255

蔵の街診療所

〒328-0027 栃木市今泉町1-17-29
☎0282(29)3131 / ☎0282(27)5455

株式会社コミュニティー研究所(関連事業所)

〒328-0027 栃木市今泉町1-17-29
☎0282(27)8414 / ☎0282(27)8415

生きいき診療所・ゆうき

〒307-0001 結城市大字結城9144-1
☎0296(45)6500 / ☎0296(45)6501

介護老人保健施設生きいき倶楽部

〒307-0001 結城市大字結城9143-1
☎0296(20)8666 / ☎0296(20)8667

居宅介護支援事業所生きいき

〒307-0001 結城市大字結城9143-2
☎0296(20)8666 / ☎0296(33)0566

訪問介護事業所生きいきケアセンター

〒307-0001 結城市大字結城9143-2
☎0296(20)8666 / ☎0296(33)0566

NPO法人ホームホスピス結城(関連事業所)

〒307-0044 結城市大字田間1489-2
☎0296(20)9050 / ☎0296(20)9051

街かどクリニック・世田谷

〒154-0017 世田谷区世田谷2-8-2
☎03(5426)6564 / ☎03(5426)6582

※OOTA-RISTEX：在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発

<http://oota-ristex.jp/>

※Home Cares Net：全国在宅医療支援診療所連絡会

<http://zaitakuiryo.or.jp/>

※コミュニティーケア研究所：独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

<http://www5.ocn.ne.jp/~kiboukai/komyu.html>



NPO 法人
ホームホスピス結城
施設長・介護福祉士 新村一昭

NPO法人エブロン改め、ホームホスピス結城(HHY)と名称を変更することになりました。
わたしたちは、高齢者や疾病・障害者、終末期の方に対して、最期まで安心した生活が送れるように、かかりつけ医・医療福祉専門職や世代、職業を超えた幅広い市民と共に、あらゆる連携・協力をして、その患者と家族を支援する事業と医療・福祉職の育成を行い、社会福祉・地域ケアの向上に寄与することを目的として活動して参ります。

当法人の主な事業は介護保険法に基づく認知症対応型生活介護事業(グループホームみんなの家)の継続だけでなく在宅ホスピス支援事業(藍の家)を運営し終末期まで支えるケアを目指しています。

この在宅ホスピス支援事業は介護保険制度外でのサービス事業になりますが、大きな施設では、適応が難しく生活できない高齢者や終末期の患者さんなどが対象となります。

自宅のように安心して誰もが、最期まで生活できる在宅ホスピスのサービスを提供するNPO法人として再出発したいと考えています。

今後とも変わらないご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

No.5

アスムス ケアナビ CARE NAVI

自宅や施設で療養されている皆様の美りある豊かな人生のお手伝いをいたします。
訪問診療・訪問看護・訪問介護・ケアプラン・通所リハビリり等
どんなことでもまずご相談下さい。

太田理事長in韓国! 在宅医療を世界へ



韓国にて講演



アスムス ケアナビ

医療法人アスムス 生きいき倶楽部 〒307-0001 結城市結城9143-1 tel:0296-20-8666 fax:0296-20-8667

※詳しくは <http://www5.ocn.ne.jp/~kiboukai/index.html> 医療法人アスムスホームページ、又はメール・電話にてお問い合わせください。

「おはよう」



＜訪問看護を通して＞わくわく訪問看護ステーションおやま 田村 秀子

I様は結城市在住の88歳です。この笑顔と楽しいキャラクターでわくわくのなかでも人気者です。「おはようございます」と家にあがっていくと「おはよう」とベッドから起き上がり、満面の笑顔で迎えてくれます。訪問開始当初は認知症も強く、ケアに対する拒否もあったのですが、通ううちに顔を覚えてくれ、体調が整っていくとスムーズなコミュニケーションが取れるようになりました。

I様は熱中症になる前は家事などを自分でされていたそうです。入院することで認知機能や全身の筋力が低下し、今ではベッド上の生活となりました。

私たちは、週2回訪問し状態観察や排便コントロール、口腔ケア、嚥下力の評価、家族の介護指導や相談などを行っています。

寝たきりの高齢者は、ちょっとしたことで大きな体調の変化を起こしやすいので、今の時期は脱水の兆候がないか食事量や水分の量また飲み込み具合なども常に注意しています。また、認知機能の衰えた方は自分で不調を訴えることができません。いつもと違った様子が見られたら早めに対応することが大切です。

I様に笑顔がいつまでも見られるように体調に十分気をつけていきたいと思っています。

＜成長＞ わくわく訪問看護ステーションおやま 小 蘭 江 一 代

J君は今年六年生になりました。2歳で在宅療養を始めてからずいぶん大きくなりました。

ベビーベッドのマットがかなり大きく見えていたのに、今ではすっかりベッドが狭くなってしまいました。新しいことが苦手で、すぐにイヤイヤと泣いて怒っていたのに、今ではヘルパーさんや訪問入浴、訪問看護も二つのステーションからきてもらっています。

退院してからは毎月入退院していたのがいつの間にか、1シーズンに1回くらいとなり、去年は気づいたら1年入院していなかった！！

顔つきもすっかり男の子らしくなりました。読み聞かせもまじめに聴いてくれています。

たくさん迷ったり心配したりもあったけれど、そのたびにママもJ君も強くなりました。今、わくわくで訪問している小児の中で一番の古株です。これからもわくわく小児軍団の希望の星でいてください。一緒に在宅記録の更新を目指したいと思っています。



「もう帰っちゃうのかい」……



訪問看護ステーションオリーブ(栃木市)看護師 白井 翔子

私が今までこのお仕事をできて一番印象深いのは、90歳代男性。独居で、訪問看護の他に訪問介護が介入し、在宅療養生活を送っていました。訪問看護では、尿道留置カテーテル管理、摘便、点滴のために週3回の訪問。これらの処置中、本人の苦痛な表情を見ていると、申し訳ない気持ちに苛まれます。

しかし、その後には「これで安心だ。」と笑顔に変わり、楽しく談笑の時間になります。帰るときには「もう帰っちゃうのかい」と寂しそうな表情になり、帰ることをためらうこともありました。

私は、訪問看護にたずさわり3年目になります。看護師は処置やケアを行うだけでなく、楽しさと癒しをもたらすような関わりを持つことが役割であることを学び、訪問看護の醍醐味でもあったと感じました。

今後は長期の関わりとなる在宅療養の中で、訪問を1つの楽しみと思ってもらえる関わりをしていけるような、看護師を目標にしていきたいです。

「気持ち良かった〜。」



訪問看護ステーション 陽だまり 黒川 奈保美

私たち訪問看護師は、療養の場であるご自宅に出向き看護を行っています。

訪問看護は、利用者さんの生活環境で見えてくる問題点を改善して利用者さんが自宅で安心して療養できるよう、色々なことを考えたり、調べたり、時には苦悩することもあります。しかし、家で入浴が出来て「気持ち良かった〜。」薬の管理が出来るとなったり「毎日飲んでるよ。」と自分の考えたことや工夫が利用者さんの喜びにつながり、その結果生活の質(QOL)が向上すると、本当に良かったと安心するとともに訪問看護のやりがいにつながっていくのだと思います。

小さな喜びを一緒に積み重ねていくお手伝いができることは、訪問看護の大きな魅力の一つであると感じています。時には一緒にお茶を飲んだり、お庭を散歩したり、昔話に花が咲いたりします。

私たちが、利用者さんに元気をもらうこともあります。「一訪問一笑い!」、「住み慣れたご自宅で安心して過ごしていただきたい!」をモットーに暑い日も、寒い日も、そんな季節と一緒に感じながら、サポートしていけたらと考えています。一つ一つの出会いを大切に、日々頑張っていきたいと思っています。

韓国に 갔다 왔어요!(韓国釜山に行ってきました!)

コミュニティー・ケア研究所 大島 貴子



平成25年6月27日から3日間、韓国釜山、BEXCOにて「2013国際老人医療学会」が開催され、28日 理事長は、「入院期間の短縮と在宅医療の推進～病院経営を高めるリハビリテーションと在宅医療～」というテーマで講演しました。韓国は日本と同じように高齢化が進んでいる国です。しかしながら、在宅医療や高齢者の福祉政策についての関心は高いとは言えず、セッションの座長でさえ、理事長の講演後、「韓国で在宅医療は馴染みのないこと。いずれは考えなければならないと思うが…」という主旨のコメントをされていました。

韓国の広告代理店の方が「病院経営」という同じテーマで発表されたのですが、韓国における病院経営とは、いかにして病院や提供する医療のブランド力を高め、顧客(患者)を集めるかが大切だということでした。クリニックの待合室にカフェをつくり、カフェとクリニックの両方から収益を得て成功しているという事例やバスの側面広告で魅力的なキャッチコピーと広告デザインで話題になり集客に成功した病院の事例などが紹介されました。

釜山滞在中は医療法人ハンソル医療財団のスタッフの方々と交流する機会にも恵まれました。想像していた以上に、みなさんととても親日的でした。とりわけ、ハンソル財団のキム理事長は、話好き、お酒を飲むのが好き、カラオケも好き…という、気取りがなく親しみやすい方でした。釜山は人も町並みも、日本と似ているようで似ていない、似ていないようで、似ている不思議な魅力がある街でした。

今回のアスムスナビは訪問看護ステーションの看護師さんに今まで訪問看護の仕事をしてきて「印象に残ったこと」をテーマに書いていただきました。利用されてる方と看護師との間に交わされる一言一言にいろいろな意味……、利用者様の歴史・背景……、看護師さんとの関係が見えてきます。

これからも笑顔で頑張ってください。